



11月コース訓練生募集！

介護職員初任者研修 ・看護助手科



栃木県では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録されている方を対象に、職業訓練を実施いたします。

■ 訓練日程

令和8年11月2日(月) ～
令和9年1月29日(金) 3か月間

- ◆訓練時間：午前9時30分～午後4時00分(昼休50分)
(一部午後4時25分まで(昼休50分)の日があります)
- ◆休 日：土、日、祝日および校長が定める日

■ 選考日

令和8年10月14日(水)

- ◆受付時間：午前9時10分～午前9時25分
- ◆開始時刻：午前9時30分

■ 募集期間

令和8年9月1日(火) ～
令和8年10月6日(火) まで

■ 選考会場

栃木県立県南産業技術専門校

- ◆住 所：栃木県足利市多田木町76
- ◆電 話：0284-91-0803

■ 訓練実施施設

株式会社プラスワーク

- ◆住 所：小山市天神町1-9-9
(無料駐車場あり)
- ◆電 話：0285-24-8115

■ 選考方法

書類審査、適性試験、面接試験

- ◆適性試験：50問、30分
- ◆持 参 品：筆記用具、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者)、上履き(スリッパ等)

■ 募集定員

15名

※応募者が少ない場合、訓練を中止することがあります。

- ◆受講対象者：公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示を受けられる方

- ◆受講料は無料です。(テキスト代等、一部自己負担あり)
- ◆訓練カリキュラムは裏面を参照してください。
- ◆指定の入校願書および履歴書に記入のうえ、住所を管轄するハローワークにお申込みください。
- ※申込み後に辞退する場合、ハローワークおよび県南産業技術専門校へ電話連絡をしてください。



お申込みはお近くのハローワークへ！

※申込みにはハローワークでの複数回の職業相談が必要です。



-----【訓練カリキュラム】-----

訓練実施施設：株式会社プラスワーク

訓練科名	【県南校】介護職員初任者研修・看護助手科（11月コース）	訓練対象者	初心者・資格のない方 介護・福祉関係で就職を希望する方
訓練期間	令和8年11月2日(月)～令和9年1月29日(金) （3か月）	訓練終了後に想定される就職先	介護施設・訪問介護事業所、 障害者支援施設、病院・クリニック
訓練目標	・介護に携わる業務を遂行する上で実践する際の考え方を身につけ基本的な知識・実践的な介護技術を学ぶ。 ・長期就労に向けて仕事理解と自己理解を深める。 ・介護施設、障害者施設、医療福祉施設で活躍できる人材になる。		
目標資格	・介護職員初任者研修 ・看護助手（任意） （※希望者のみ 過去問題集：1,650円、受験料：4,500円）	自己負担	・講習用テキスト：7,370円 ・訓練生総合保険：3,100円＋払込手数料 ・健康診断代：8,140円 ・補講料：2,500円／1時限

科 目		科 目 の 内 容	訓練時限	
訓練の内容	学 科	社会	オリエンテーション・ガイダンス	8
		職務の理解	多様なサービスの理解・介護職の仕事内容や働く現場の理解	10
		介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護・自立に向けた介護	12
		介護の基本	介護の役割、専門性と多職種との連携・介護の職業倫理・介護の安全性	12
		介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度・医療との連携とリハビリテーション・障害者自立支援制度及びその他の制度	12
		介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション・チームのコミュニケーション	12
		老化の理解	老化に伴うこととからだの変化と日常生活・家族への支援	12
		認知症の理解	認知症を取り巻く状況・医学的側面からみた認知症の基盤と健康管理・認知症に伴うこととからだの変化と日常生活・家族への支援	12
		障害の理解	障害の基礎的理解・障害の医学的側面、生活障害等基礎的知識・家族の心理・かかわり支援の理解	9
		こととからだのしくみと生活支援技術(基礎的理解)	介護の基本的な考え方、介護に関することとからだのしくみの基礎的理解	12
		こととからだのしくみと生活支援技術(生活支援技術)	生活と家事・快適な居住環境と介護・睡眠に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護、死にゆく人に関連したこととからだのしくみと終末介護	21
		実習前オリエンテーション	実習の心構え、注意事項、目標、実習先での研修の視点、記録の仕方	1
		振り返り	振り返り、就業への備えと研修終了後における継続的な研修	5
		修了評価	筆記試験(介護職員初任者研修実施要項に基づく全科目の筆記試験)	1
		職業人講話	介護現場における傾聴の仕方・介護現場の現状	6
		安全衛生	介護現場における安全衛生	6
		就職支援	就職心得、グループワーク、仕事理解、自己理解、ジョブカードの説明、履歴書、職務経歴書の作成支援、面接指導	18
		看護助手に関する知識	看護助手業務と役割の理解・患者の理解	15
		デジタルリテラシー	介護現場におけるデジタル操作のセキュリティ対策及び他業種との連携・業務効率化について	3
	実 技	こととからだのしくみと生活支援技術(生活支援技術)	睡眠、整容、移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護、シーツ交換	95
		こととからだのしくみと生活支援技術(生活支援技術演習)	介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術	12
		職場見学・体験	介護・障害福祉施設の見学及び体験	6
		企業実習	施設サービス実習及び訪問通所サービスの実習	12
		レクリエーション演習	レクリエーションの計画・実践	6
		看護助手に関する技術	看護助手業務を遂行するための基本技術	12
訓練時限総合計：330時限（学科：187時限、実技：143時限）				

-----【MAP】-----



※受験番号

入 校 願 書

令和 年 月 日

栃木県立県南産業技術専門校長 様

ふりがな
氏 名生年月日 昭和 年 月 日生 (歳)
平成

貴校に入校したいので、関係書類を添えてお願いします。

入 校 希 望	訓練課程	短期課程 (委託訓練)		
	訓練科	訓練番号 () ----- 科		
現 住 所		(〒 -) TEL (- -)		
連 絡 先		(〒 -) TEL (- -)		
最 終 学 歴	学 校 名	科・課程・学年	卒業等 年 月 日	
			昭和 年 月 日 平成 令和 卒 業 ・ 卒業見込み 修 了 ・ 修了見込み 中 退	

備 考

- 各欄の該当事項を記入し、又は○で囲むこと。
- ※印欄は、記入しないこと。

(注) 国家公務員等退職手当又は雇用保険、訓練
手当等の受給資格のある人は、必ず近くの
公共職業安定所の指示を受けること。

※安定所 受付印		※産技校 受付印	
-------------	--	-------------	--

履歷書

令和 年 月 日現在

ふりがな		写真を貼る位置 1. 縦 36～40mm 横 24～30mm 2. 本人単身胸から上 3. 裏面のりづけ
氏名		
昭和・平成 年 月 日生（満 歳）	※ 性 別 男 ・ 女	
ふりがな		電話
現住所 〒 —		携帯
		FAX.
ふりがな		電話
連絡先 〒 — （現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入）		
方		FAX.

[illegible]

記入上の注意 1. 鉛筆以外の黒又は青の筆記具で記入。 2. 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。
3. ※印のところは、該当するものを○で囲む。

年	月	免許・資格

年	月	職業訓練受講歴

雇用保険受給資格者証			
所持の有無	有・無		
離職年月日・理由	年	月	日 離職理由 番
給付開始日・所定給付日数	年	月	日 所定給付日数 日

志望動機		
通校時間（片道） 約 時間 分 使用する交通用具等 ※ 自家用車・電車・バス・バイク・徒歩	扶養家族数（配偶者を除く） 人 配偶者※ 有・無	配偶者の扶養義務 ※ 有・無

保護者（本人が未成年者の場合のみ記入）		電話
ふりがな	ふりがな	FAX.
氏名	住所 〒 —	